

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスいろは（児童発達支援）		年 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		広い空間を設け、転倒や突起物等にぶつかることがないようにしている。ボール遊びや軽い駆けっこが出来る空間があり、適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		制度上は適切である。職員に欠員等がでた場合は、送迎方法や活動内容を出動している職員で安全に支援できるよう変更	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		unnecessary ドアを取り払い、スペースを広く取り子供たちが走ってもぶつかるものがないように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		簡易マットや絨毯などを使用し回的な環境にしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個室を用意し精神的に不安定になる児童が安心して過ごせるようになっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		モニタリング会議を定期的に行い票をし計画を作成している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者に説明し意向をきいて計画書に反映させている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に職員会議を実施し業務上の課題があれば話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		現在第三者評価は実施していないので今後取り入れることを検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に会議と研修会を実施している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HPにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		最長で6か月に1度、アセスメントを実施し、意見や意向を踏まえた上で、計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援員等も参加出来るよう努めている。本人も障がいの状況等に応じて、参加を促している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		作成した計画書は、全職員が共有することが出来るよう会議の場で報告したり回覧をしたりしている。 決アセスメント結	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		アセスメント結果をAIを活用して棒グラフやレーダーチャート化している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		項目ごとに適切に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		マンネリ化しないよう、様々な活動を取り入れている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		個々の特性に応じて作成し、支援している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		毎朝朝礼を実施し、本日の支援内容や役割分担等について確認し合い、チームで支援できるよう全職員が心掛けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		全職員で振り返り内容や検討事項、決定事項等を把握し共有出来るよう、日誌に項目を設け、確認するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日必ず記録を残し、振り返りや検討・改善ができるようにしている。残すことで支援計画や以後の支援にも繋げている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		最長で6か月に1度、職員間や関係者と支援会議を実施し、意見や意向を踏まえ、た上で、見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		計画書に盛り込み、行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	7		本人の意思や意見を尊重し、自分で物事を決め、決定することができるよう言葉掛けや支援方法を工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校等とは必要時に連絡し共有を図っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		必要時に連絡調整を図っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要時に連絡を図り相互理解を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		児童発達支援センターや行政の担当者とは連絡調整を必要時に図っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が持てるように機会を設ける。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や必要時に電話や面接を行い共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		家族が参加する研修会を設けた。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		家族の意向を聞きながら支援内容を検討している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		計画書を提示し承認を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談があれば応じるようにしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	今年度は実施できなかったが実施したいと考えている。	父母会の活動は十分に実施できていないので、今後は兄弟家族やの交流の機会を図れるようにしたいと考えています
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情窓口と担当者を設置している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSやあゆみの森通信を発行し状況を報告している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		留意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		配慮して行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		地域の方を招待してのイベントを今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		マニュアルを家屋に周知までできていないので今後検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		サービスの開始時に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在はいないが確認はしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		実施できている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット発生時には作成し共有を図っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修会を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束は行っていない。		